

不適合情報

2017年7月14日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	原子炉建屋地下1階および地下5階の階段室において、防火区画として設定している壁の貫通部に防火処置が施されていない箇所(2箇所)を確認した。当該箇所を修理。【2017年7月12日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2017/29071201p.pdf	G III 以下

3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	5号機	排ガス線形放射線モニタの指示値が一時的に下降し、下限逸脱の警報が発生したことを確認した。当該モニタを点検・修理。	
2	5号機	低起動変圧器(B)活線浄油機盤内(屋外)に雨水の水溜まりを確認した。拭き取り実施済み。当該盤を点検・修理。	
3	6号機	コントロール建屋1階通路の照明器具1灯が破損していることを確認した。当該器具を点検・修理。	
4	7号機	制御棒駆動系機構モータの点検時、電磁ブレーキのフレーム(4つ)に線状模様を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	
5	その他	免震重要棟のガスタービン発電機用地下タンクに軽故障を示す警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
6	その他	大容量送水車他全13台が車検の契約手続きの遅れにより、車検有効期間を超えることを確認した。当該事象の原因を調査。なお、当該車両は発電所構内は走行可能。	
7	その他	発電所構内で防災の個別訓練中に業務車を方向転換のため後退した際に、業務車後部を誤って立木に接触させ損傷させたことを確認した。当該車両を点検・修理。	
8	その他	地質調査ボーリング作業をしていた協力企業作業員が、ボーリングロッドの吊り上げ治具と固定治具に左手中指を挟み負傷したことを確認した。業務車両にて病院へ搬送。治療(不休)。当該事象の原因を調査。 【2017年7月13日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2017/29071301p.pdf	